



— <宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ> —

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

岐阜高山教務所だより

岐 仏教公開講座のご案内 (7/20)

仏法聴聞の場として、「仏教公開講座」が始まり、22年目を迎えました。

「生きるってどういうこと」を年間テーマとし、「眼(まなこ)をひらく 心(こころ)をひらく」をサブテーマとして、第240回を開催いたします。

一人でも多くの有縁の同朋と共に、仏法聴聞の場に出遇っていただきますようご案内申し上げます。

日時 2025年7月20日(日)午後2時から
講師 梶原 敬一氏(小児科医・真宗大谷派僧侶)
講題 人間って何だろう
会場 岐阜高山教務所
聴講料 年間聴講券(5,000円)
当日券(500円)

講師からのメッセージ

最近の AI の進化は目を瞞るものがあります。知的活動においても人間の能力を遥かに超えています。今後さまざまな分野で、AI が人間にとって代わって、人間は必要なくなっていくのでしょうか。それでも人間として生まれてくる意味はあるのでしょうか。今、この事が、宗教に突きつけられている問題だと思います。

岐 仏教公開講座年間聴講券について (お願い)

岐阜地区の各ご寺院に2025年度仏教公開講座の年間聴講券を『教務所だより6月号』に同封しております。聴講券の精算(1枚5,000円×2冊)については、9月末日までに各組長様にお願いしております。一人でも多くの方々にご参加いただきたいという願いをお汲み取りいただき、ご住職、坊守さまのご参加はもとより、広くご門徒にも呼びかけていただきますようお願いいたします。

なお、聴講券が不要な場合は、組長様にご清算の際に、残券を組長様にご返却くださいますようお願いいたします。また、追加で聴講券が必要な場合は、個別にお渡ししますので、岐阜高山教務所までご連絡ください。

『毎月20日、岐阜高山教務所 1F 講堂で、14時から開催 ※但し、9月・3月のみ14時半から』しますので、お間違えのないよう、よろしく願いいたします。

今月のテレホン法話

テーマ

いのちの出会い「真実の声を」

TEL(058)265-0033

7月1日～末日

近藤 龍麿 氏

(第11組廣専寺住職・岐阜地区教化センター長)

教務所事務休止のお知らせ

① 7月7日(月)終日～8日(火)13時

対象 高山教務支所

事由 教務所全体ミーティングのため

② 7月24日(木)終日～25日(金)13時

対象 岐阜高山教務所

事由 教区門徒会対応のため

新入職員教務所研修について

下記のとおり、岐阜高山教務所において新入職員の教務所研修が実施されています。電話対応、受付、研修会参加等の実習を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

① 研修者 ^{もり}森 ^{はると}遇 (総務部事務見習)

② 研修期間 6月27日(金)～7月24日(木)

「岐阜高山教区 保護司連絡協議会」の発足について

去る6月25日開催の岐阜高山教区の保護司の会合において、新年度から、岐阜高山両地区の保護司が一体となり、「岐阜高山教区保護司連絡協議会」を発足することで合意し、「岐阜高山教区保護司連絡協議会規則」が承認されましたので、お知らせします。

住職就任 (6月28日就任)

第2組 法蔵寺 平野 裕信 様

7月の主な行事

1日(火)[14時]伝道部会^高

[15時]育成部会^岐

2日(水)[14時]寺院活性化支援室会議

[15時]雅声会^岐

3日(木)[14時]児連会議^岐

9日(水)[13時半]高山支部坊守会総会^高

10日(木)[14時半]児連会議^岐

[14時]帰敬式推進室^高

[14時]教務員会^岐

[16時]大谷保育協会岐阜高山支部総会^岐

[19時]青少幼年会議^高

11日(金)[14時]岐阜支部坊守会員会

14日(月)[13時半]サラナン^岐

[14時]研修部会^岐

16日(水)[14時]参事会・常任委員会、財務委員会、

緊急事態対策委員会^岐

17日(木)[14時]児連会議^岐

18日(金)[14時]岐阜地区同推協役員会^岐

20日(日)[14時]仏教公開講座^岐

22日(火)[13時半]教区会^岐

22日～23日 飛騨ごぼう夏のつどい^高

23日(水)[11時]サラナン総会^岐

24日(木)[13時半]教区門徒会^高

25日(金)[14時]児連会議^岐

[14時]岐阜地区同推協総会^岐

[19時]教化学研修室^岐

[19時]教化研究所^高

28日(月)[13時半]教区坊守会委員会

28日～29日 岐阜地区児連夏のつどい^岐

29日(火)[19時]教化学研修室^岐

30日(水)[14時]正副組長会・組門徒会長会

宗議会議員選挙に関するお知らせ

来る2025年9月15日(月)に、宗議会議員の任期満了に伴う総選挙が実施されます。

このたびの総選挙より、選挙日程や選挙人名簿の閲覧、郵便投票の手続きなどが変更されておりますので、別紙「宗議会議員選挙に関するお知らせ」をご一読ください。

所員のつづやき

子どもが産まれた。といっても産まれてもう8か月経つのだが、この8か月間で私の生活は大きく変わった。今までは仕事が終わって家に帰ると、妻と二人で好きなドラマを観ながらゆっくり晩御飯を食べ、ゆっくりお風呂に入り、お酒を飲みながら会話を楽しみ、その後はそれぞれゲームをしたりインターネットを楽しんで、そこそこの時間で布団に入り、朝までゆっくり寝る。そんな毎日だった。だが今はそうはいかない。ドラマを観る時間は子どもをあやす時間になり、晩御飯はいかに早く食べられるか。お風呂なんてゆっくり入れるわけではなく、お酒を飲むのではなくミルクを飲ませ、ゲームの時間は寝かしつけの時間になった。せっかく時間をかけて寝かしつけても、うちの子は1時間に一度くらいはふえふえと泣き出すのでその度手を握りにいき、夜中も2、3時間おきに起こされる。朝には起きて仕事に行かなければならないのになかなか寝ないので焦りが募り、妻も私も心がすり減っていく。子どもが産まれる前の、何でも好きなことを好きな時にできていた生活を今はもう思い出せない。思い出せないということは、つまりは忘れてしまうということだ。この大変な毎日、いつかは忘れてしまうのだ。ゆっくりドラマを観れるようになったら、親を探して不安がって抱きついていてあなたのぬくもりを思い出さるうか。

ゆっくりお風呂に入れるようになったら、狭い湯船の中、キャッキヤとこだまするあなたの声を出さるうか。ゆっくりお酒が飲めるようになったら、ミルクを求めて口を必死にパクパクさせていたあなたの顔を思い出さるうか。ゲームとか、ネットとか、好きなことを好きなだけできるようになったら、私の髪の毛をひっぱり、膝の上によじ登り、やることなすこと全てを邪魔してくるあなたの小さな手を思い出さるうか。何も気にせず朝まで眠れるようになったら、耳を澄まさなければ聞こえないほど小さな小さなあなたの寝息を思い出さるうか。

一体いつまでここにいてくれるのだろう。私の日常は、「子どもが側にいる今」だから、子どもから離れて一人になれた瞬間が特別で、好きなことを堪能できる喜びを噛み締めるけど、でも人生で考えると、特別なのは、本当は子どもが私の側で生きている、この毎日のほう。本当はこの大変な毎日に、数えきれないほどの愛しさが散りばめられているんだ。そのことを私たちは、忘れてから気付くのです。子どもがこの世に生を受けてから今日まで、パパとママのために全身を力いっぱい使って、愛しい思い出をまき散らしてくれていたことに、私たちは忘れてから気付くのです。

今日もあなたは、心から純粋な笑顔で私に微笑みかけてくれるだろう。

忘れるものか、絶対に。

自分が一番好きだった。そんな私に、自分の命よりも大切だと思える存在がこの世にはあると教えてくれた子どもに、心から感謝を。

教務所 木越 遥



教区教化委員会・慶讃事業推進委員会（開催報告）

6月24日(火)、教区教化委員会及び慶讃事業推進委員会が開催された。

教区教化委員会では、教区教化事業である「聖典聖教学習会」「同朋の会推進講座」「組門徒会研修」「是旃陀羅問題に取り組む実行委員会」「寺院活性化支援室」の事業報告・計画が承認された。その後、両地区教化センター事業報告・計画が報告された。

慶讃事業推進委員会では、「総務会」「法要教化部会」「広報部会」の小委員会報告がされ、「岐阜高山教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業計画(素案)が承認された。また、同委員会に常任委員会を設置すべく、同委員会規程の一部を改正する規程案が承認された。

寺院活性化支援室『ようこそ！新住職ごえんさんのつどい』（開催報告）

2025年6月11日(水)に寺院活性化支援室事業として『ようこそ！新住職ごえんさんのつどい』が、岐阜高山教務所・岐阜別院本堂他を会場にして開催された。

当日は、両地区併せて15名が参加。講師の白尾公信氏(高山2組了心寺)の「おはなし(住職になってみたものの)」を受け、その後3班にわかれて「語り合い」を行った。

対象となった住職は2019年2月～2025年2月の過去5年間に就任された方々で、日頃、抱えておられる法務での不安や悩みを話し合っておられた。参加者の方からは、この「つどい」を次回は高山で開催してほしいとの声があがった。

今後、寺院活性化支援室としては、対象となる方を変えつつ、教区の方々が集い、交流いただく場を創造していく。

是旃陀羅問題学習会（開催報告）

去る6月19日(木)14時より「是旃陀羅」問題に関する取り組みに係る「教区学習会」が岐阜高山教務所をメイン会場とし、高山教務支所をリモート会場として開催された。

中山量純氏(本山解放運動推進本部)より講義をいただき、是旃陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』を輪読していく上でのポイントや、スライドを使いわかりやすい写真などを見ながら課題を学ぶ機会となった。

主催者である「教区是旃陀羅問題に取り組む実行委員会」は、2024年9月に「教区説明会」を基礎的な事柄から学ぶ場として開催した。説明会を受けて、実行委員会内にて教区内で是旃陀羅問題について触れる機会を更に創出していきたいとの願いから、今一度、対象を拡大して基礎的な事柄から学ぶ「教区学習会」を開催する運びとなった。

学習会当日は「旃陀羅」という言葉の意味や背景、大谷派教団としてどのように受け止めてきたのかといった内容等をお聞きし、岐阜高山教務所33名、高山教務支所25名の参加があった。

『観経』にあるこの言葉をどういただくのかも大切であるが、差別を受けてきた人々からこの言葉に対して「心に痛みを感じる」との訴えの中から教団として歩みが始まってきた。宗派としてだけでなく、教区として、更には一人ひとりがいかに受け止めていくのかが問われている。

教区「是旃陀羅問題に取り組む実行委員会」では「教区学習会」後の取り組みとして、各組や各諸団体にそれぞれの実態にあったペースでの『御同朋を生きる』の輪読学習の検討をお願いしていく予定です。また委員会主催による同書輪読会も開催を予定しておりますので、情報をお待ちください。 ※『御同朋を生きる』は教務所・教務支所にも在庫がありますので、必要な場合は遠慮なくご相談ください。